

旭町・明神町地区周辺まちづくり構想 アクションプランの作成について

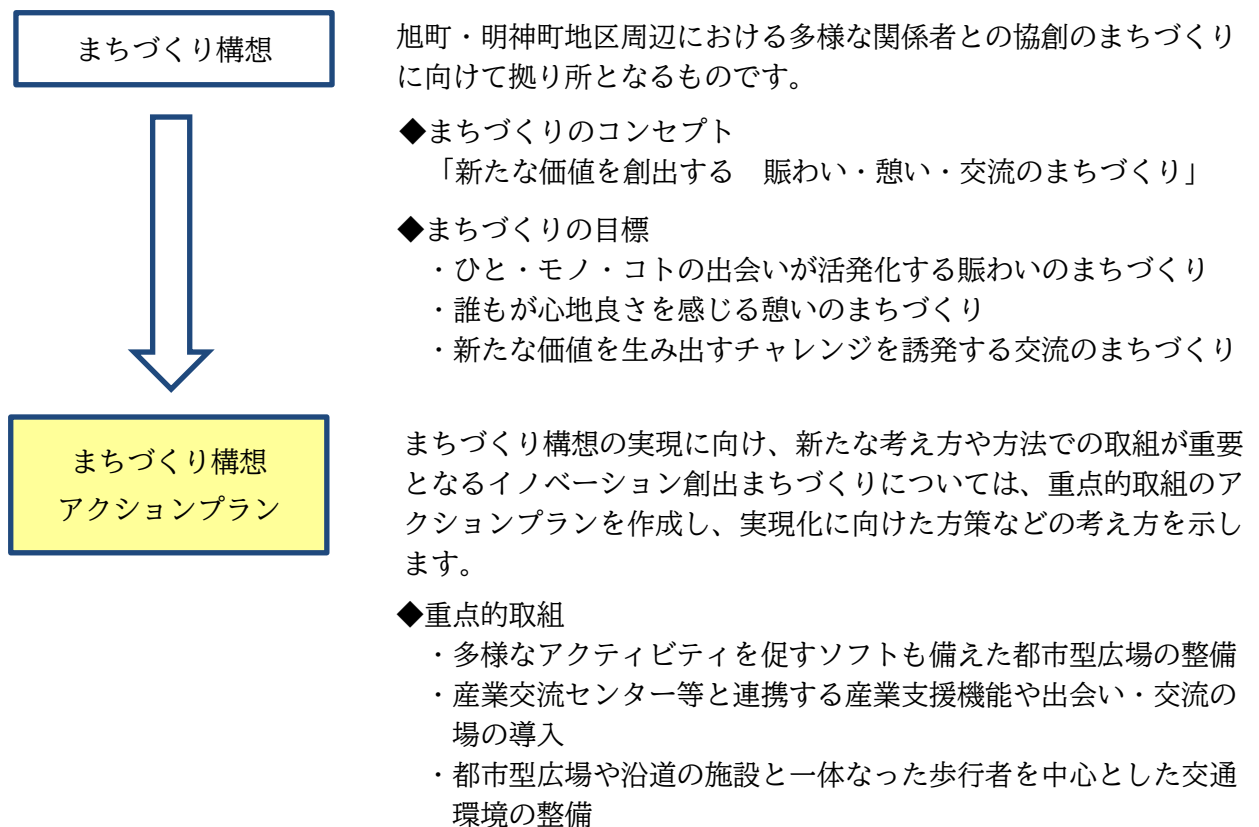
1. 目的・理由

「旭町・明神町地区周辺まちづくり構想」の改定では、イノベーション創出環境の整備を図るという視点も加えて、現在、検討を進めている。

まちづくり構想は、「目標と将来像、まちづくりの方針、構想の実現化の方針」という構成で、当地区のまちづくりを進める上での基本的な考え方を示しておりますが、まちづくり構想の実現に向け、新たな考え方や方法での取組が重要となるイノベーション創出まちづくりについては、重点的取組としてアクションプランをまとめ、実現化に向けた方策などの考え方を示すこととしました。

2. アクションプランの位置づけ

まちづくり構想とアクションプランの位置づけは以下のとおりです。



3. 重点的取組の選定理由

- ◆多様なアクティビティを促すソフトも備えた都市型広場の整備

都市型広場は、賑わい・憩い・交流の核にしたいと考えている。そのためには、活用が促進され、アクティビティが活発化するような空間とするべく、広場の計画段階から多様な主体と連携するための仕組みや仕掛けを検討する。

- ◆産業交流センター等と連携する産業支援機能や出会い・交流の場の導入

産業交流センターと連携して、新しいチャレンジやビジネスが生まれやすい環境を整備することは、同施設の設置目的の一つであり、その波及効果は大いに期待できる。そのため、地元企業、大

学、市民はもとより、市外の人材や企業といった異なる属性間との交流や協業を促進するため、産業交流センターの機能を補完する機能の導入やコミュニティの場の形成について検討する。

◆都市型広場や沿道の施設と一体なった歩行者を中心とした魅力ある交通環境の整備
産業交流センターや都市型広場、沿道の施設と一体となった歩行者を中心とした魅力ある交通環境を整備することで、柔軟性・受容性の高い心地よい空間や活動が生まれる。そのため、官民がそれぞれの強みを生かして魅力や価値を維持・向上させるための方策について検討をする。

4. 内容(骨子案)

「まちづくり構想 アクションプラン」では、以下の内容について示すことを予定している。

- ・取組に向けた基本的な考え方
- ・まちづくり構想で描くまちの将来像・目標
- ・まちづくり構想における基本の方針や取組
- ・実現に向けた方策
- ・今後の取組、検討すること
- ・取組のロードマップ

(参考) 「多摩のイノベーション創出拠点の形成に向けた取組方針」

東京都の「多摩のイノベーション創出拠点の形成に向けた取組方針」において、まちの魅力や付加価値を高めることが人材・企業などを引き寄せ、ひいてはイノベーション創出につながること、公・民・学の連携による協力体制を築き円滑かつ継続的に取組を推進することにより、拠点としての魅力や価値を維持・向上させることが示されている。

イノベーション創出まちづくりのイメージフロー

